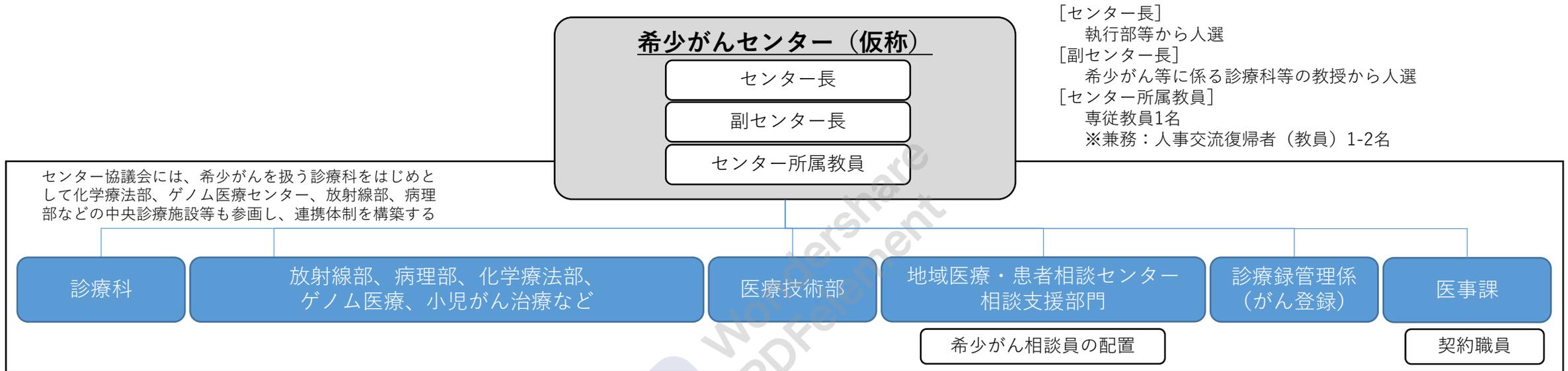


希少がんセンター（仮称）組織体制



希少がんセンターの主な3つの取り組み

希少がん治療体制

個々の診療科による治療体制だけでなく、診療科横断かつ多職種により一体となって、希少がんの治療にあたる体制づくり

※合同カンファレンスやチーム医療体制の確立

※当院の希少がん医療のプラットフォーム的な役割

広報戦略

希少がんに関する診療実績、研究等の情報集約（更新）し、HP等で外部（患者、外部医療関係者など）に積極的に発信

他院とのネットワーク確立

希少がん患者、患者家族、外部医療機関向け公開講座・セミナー等の企画立案及び実施

希少がん相談窓口の設置

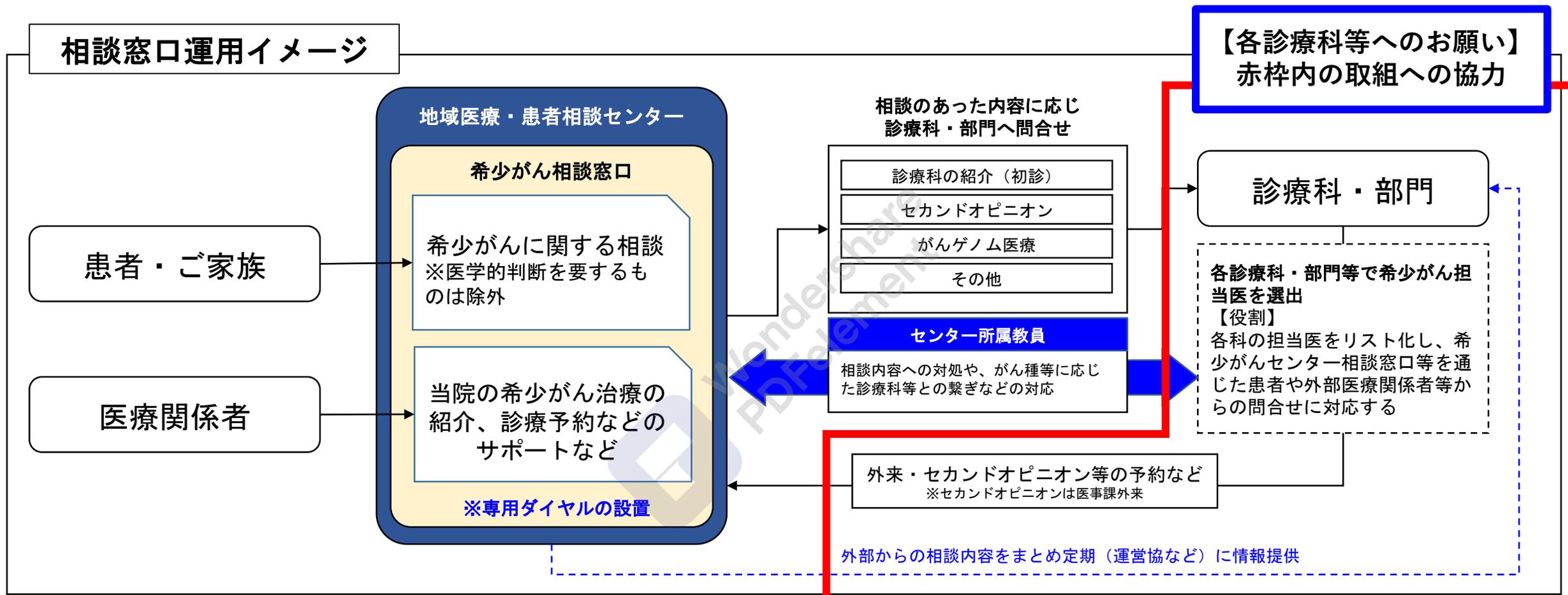
希少がん患者、患者家族および外部医療機関からの相談に応じるため専用の窓口を設置

情報が少ない希少がんについて、患者等が、まずはどこに相談すれば良いか等のニーズに応える体制づくり

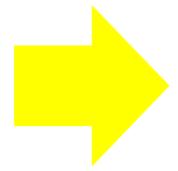
※専用ダイヤルを設置予定

[拠点事業] 厚労省の動向を注視し、拠点事業化した場合は、当センターが中心となって拠点病院の取得を目指す（復帰者の活用：厚労省とのパイプ）

相談窓口機能の設置イメージ（案）



検討課題



希少がん相談員の配置（専従）
 ※職種は看護師、CRC等の経験者を想定
 ※リクルートが課題
 ※既存のがん相談等との協働体制の構築
 ※人材養成（国立がんセンターなどの研修計画）

診療予約機能の検討
 ※診療科等の相談事業への協力体制
 ※適切な予約フローの検討

担当医師の選出
 ※希少がんに関するメーリングリスト作成
 ※当院の診療・研究実績のデータ収集への協力体制の構築

広報戦略

【各診療科等へのお願い】

希少がんに関するHP作成への協力（診療等の実績紹介ページなど）

病院HPに「希少がんセンター」を新設

HP掲載内容：

当院のがん治療の実績紹介ページ

当院の希少がん治療の実績紹介ページ

がん（希少がん含む）研究の紹介ページ

など

ホームページ作成にあたってのポイント

- ・インターネットのキーワード検索でヒットしやすいよう広く病名をリスト化

- ※がん治療、研究の実績等は、集計方法等をルーチン化し最低年1回更新を目指す

- ・専門外来は設置しないが、各診療科のがん関係の外来日等を一覧表にし、希少がんセンターHP内で紹介する

- ・センターHPでは「希少がんダイアル（仮称）」の利用を促すようレイアウトを工夫する

- ・セミナー等の開催情報を掲載

公開講座・セミナー等の企画および実施

希少がん患者、患者家族等または医療関係者向けに年1-2回程度実施を目指す。

がん拠点、小児がん拠点、がんゲノム拠点などと連携して公開講座・セミナー等の開催を企画

年1回以上の開催を目標

【各診療科等へのお願い】

公開講座・セミナー等を年1回以上企画・開催する予定であり、企画等に際しご協力をお願いします。